

「100 周年の今だからこそ生まれた、 高校生の本気。ツルっと召し上がれ」

碧南高校 100 周年記念「ツルツルラーメン」

－ 小笠原製粉と碧南高校生が企画から PR・販売まで挑戦 －

愛知県立碧南高等学校の生徒が、地元企業の小笠原製粉株式会社と共同で、キリマルラーメンをベースにした 100 周年記念商品「ツルツルラーメン」を開発しました。100 周年をただ祝うだけで終わらせず、自分たちの手で盛り上げ、記憶に残る形にしたいという思いから生まれた商品です。「鶴は千年」という言葉に未来への願いを込め、ラーメンをすすする「ツルツル」という音と掛け合わせました。商品づくりだけでなく、おまけ、市長訪問、PR、POP、販売まで生徒が主体となって取り組んでいます。完成した「ツルツルラーメン」は、校内で 10 月 26 日、11 月 10 日の 2 回販売する予定です。また、12 月 19 日にはあおいパークでも販売を予定しています。

■100 周年を、ただ「おめでとう」で終わらせたくない！

最初は授業として始まった商品開発でしたが、考えていくうちに「100 周年は一度しかない。せっかくその年に自分たちが碧南高校の生徒としているなら、自分たちだからできる形で残したい」という気持ちが強くなりました。目指したのは、見た人が「面白い」、食べた人が「もう一回欲しい」、そして誰かに話したくなる商品です。

■「鶴は千年」×ラーメンの「ツルツル」

100 周年から連想したのは、長寿の象徴である「鶴」でした。「鶴は千年」という言葉に、100 周年の先も碧南高校が長く続いてほしいという願いを込めています。さらに、ラーメンを食べるときの「ツルツル」という音を掛け合わせ、「ツルツルラーメン」と名付けました。

■作って終わりじゃない！届けるところまで自分たちで

私たちがやっているのは、商品を考えることだけではありません。市長の方への訪問や相談、PR 動画、POP 作成、販売方法まで、自分たちで考えて動いています。思った通りに進まなかったことや、意見がまとまらず迷ったこともありました。それでも、話して、直して、また考えることを繰り返し、「どうしたら人に伝わるか」まで考えるようになりました。

■開ける瞬間にも、ひとつ楽しみを

商品には、先生や生徒が考えた一言メッセージ入りの「鶴のおまけ」も入れます。何が入っているかは、開けてからのお楽しみです。「また欲しい」「友達にも話したい」と思っても

らせる一杯を目指しています。

完売したら、もちろんうれしいですが、それだけがゴールではありません。何年後かに100周年を振り返ったとき、「あの時、ツルツルラーメンあったよね」と思い出してもらいたい。最終的には、「碧南高校100周年といえばツルツルラーメン」と言ってもらえるくらい、みんなの記憶に残る商品にしたいです。

最初のパッケージ



完成したパッケージ



おまけ(表面)



おまけ(裏面)



商品名：ツルツルラーメン

販売場所：校内、あおいパーク

販売日：

校内_10月26日、11月10日

あおいパーク_12月19日

価格：1セット 400円（税込）

企画：愛知県立碧南高等学校

協力企業：小笠原製粉株式会社

【お問い合わせ先】

●愛知県立碧南高等学校

愛知県碧南市向陽町 4-12

TEL 0566-41-2564

担当教員 総合ビジネス科 石川裕也

●小笠原製粉株式会社 小笠原充勇（おがさわらみつお）

愛知県碧南市汐田町 3-33

電話：0566-41-0480

FAX：0566-42-6969

携帯：090-2284-6080

